

## アンカー工に関する特記仕様書

### I. 基本調査試験

1. 本工事では、アンカーの設計に用いた地盤の極限周面摩擦抵抗の値を確認するため、基本調査試験<sup>※1</sup>を実施するものとする。なお、これに係る費用は、別途、技術管理費に積上げ計上している。
2. 試験位置  
基本調査試験を行う位置については、監督職員との協議により決定するものとする。
3. 試験計画書の提出  
受注者は、試験計画書を監督職員に提出しなければならない。また、試験計画書の記載事項については、「地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（平成24年11月）」<sup>※2</sup>第8章試験によるものとする。
4. 試験方法・試験結果の整理と判定  
基本調査試験の試験方法・試験結果の整理と判定については、「地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（平成24年11月）」第8章試験によるものとする。
5. 監督職員等による立会  
基本調査試験の実施にあたっては、下記の事項について監督職員等の立会を受けるものとする。

時 期	確認項目	立会の程度
削孔時	定着地盤 <sup>※3</sup>	全数
削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	
基本調査試験用アンカー 体組立時及び挿入時	使用材料、挿入状況	
グラウト注入時	流下時間、加圧力	
基本調査試験時	緊張力	

6. 監督職員への報告  
受注者は、試験結果の整理と判定及び立会を受けた状況を監督職員に報告しなければならない。
7. 上記によりがたい場合は、監督職員と協議しなければならない。

※1 基本調査試験とは、アンカーの設計に必要な設計定数を決定するための試験であり、「地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（平成24年11月）」第8章試験による。

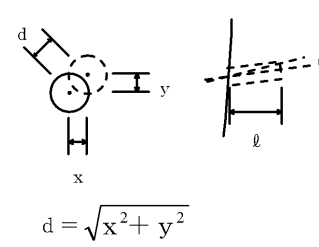
※2 同書の改訂がなされた場合には、最新版によるものとする。

※3 定着地盤の確認方法については、監督職員と協議するものとする。

## II. 施工管理基準

### アンカー工の施工管理基準(案)

#### 1. 出来形管理基準

工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
アンカー工 抑止アンカー工	削孔深さ $\ell$	設計値以上	全数（任意仮設は除く）	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
	配置誤差 $d$	100 mm			
	せん孔方向 $\theta$	$\pm 2.5^\circ$			

#### 2. 品質管理基準

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
アンカー工 抑止アンカー工	施工	必須	グラウトの圧縮強度試験	JSCE-G505-1999	設計図書による。	供試体の採取回数は、アンカー10本につき1回とする。	ただし、グラウトの必要強度の確認後に実施すること。	
			グラウトの流動性試験	JSCE-F521-1999		グラウト注入前に試験は2回を行い、その平均値を流下時間とする。		
			適性試験（旧多サイクル確認試験）	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2012）		・施工数量の5%かつ3本以上。 ・初期荷重は計画最大荷重の約0.1倍とし、引き抜き試験に準じた方法で荷重と除荷を繰り返す。		
			確認試験（旧1サイクル確認試験）	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2012）		・適性試験（旧多サイクル確認試験）に用いたアンカーを除くすべて。 ・初期荷重は計画最大荷重の約0.1倍とし、計画最大荷重まで荷重した後、初期荷重まで除荷する1サイクル方式とする。		
	その他		・定着時緊張力確認試験 ・残存引張力確認試験 ・リフトオフ試験等	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2012）	所定の緊張力が導入されていること。		適性試験（旧多サイクル確認試験）、確認試験（旧1サイクル確認試験）の試験結果をもとに、監督員と協議し行う必要性の有無を判断する。	

#### 3. 写真管理基準

##### ①品質管理写真

工種	写真管理項目			摘要
	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件	
アンカー工 抑止アンカー工	グラウトの流動性試験	適宜 〔試験実施中〕	不要	
	グラウトの圧縮強度試験			
	適性試験（旧多サイクル確認試験）			
	確認試験（旧1サイクル確認試験）			

②出来形管理写真撮影箇所

工種	写真管理項目			摘要
	撮影項目	撮影頻度〔時期〕	整理条件	
アンカー工 抑止アンカー工	削孔深さ	全数〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	
	配置誤差	全数〔施工後〕		
	アンカー体組立状況	全数〔組立完了後〕		

Ⅲ. 段階確認

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
アンカー工 抑止アンカー工		削孔時	定着地盤	一般：1回／10本 重点：1回／5本  ※削孔時からグラウト注入時までを同一孔で確認する。
		削孔完了時	削孔深さ、せん孔方向	
		アンカー体組立時及び挿入時	使用材料、設計図書との比較、挿入状況	
		グラウト注入時	流下時間、加圧力	
		適性試験時（旧多サイクル確認試験時）	緊張力、定着力	一般：1回／1工事 重点：2回／1工事
		確認試験時（旧1サイクル確認試験時）	緊張力、定着力	一般：1回／10本 重点：1回／5本

・一般（監督）：重点監督以外の工事

・重点（監督）：下記の工事

（イ）主たる工種に新工法・新材料を採用した工事 （ロ）施工条件が厳しい工事

（ハ）第三者に対する影響のある工事 （ニ）その他